



ひかり



～ふるさとを愛し、互いのよさを認め、進んで学ぶ生徒の育成～

新年明けましておめでとうございます。

新年明けましておめでとうございます。令和7年が始まりました。2学期の終業式では「一年の計は元旦にあり」と言われるように節目を大切に、「どんな大人になりたいか」を考え、それに向けて、「何をしなければならないか」を考え、1日1日を大切に取り組みでくださいとお話をしました。みなさんはどんな冬休みを過ごし、どんな元旦を迎えましたか？1年の終わりには「今年1年を漢字一文字で表すと」などと考えます。1年のはじめに今年1年をどんな年にしたいかを考え、漢字一文字で表すのもいいですね。

3学期は「基礎・基本を見直し、次へのステップ」

いよいよよまよめの3学期が始まりました。3年生にとっては中学校最後の学期となり、高校入試も始まります。「入試は団体戦です」とよく言われます。一人一人の進路を決める個人戦のように見えますが、チームワークが鍵を握る団体戦です。互いに励ましあい、高めあって、みんなで喜び合えるよう頑張りたいと思っています。最後にはそれぞれの力が重要ですが、互いに支え合えるゆとりのある心を持ってがんばってほしいと思います。インフルエンザなどにかからないように、健康管理に十分注意してください。

1・2年生はもう一度、原点に戻って「学校は学習をするところ」ということを意識してください。今の時期に身につけておかなければならない基礎・基本をしっかりとおさえてください。2年生は4月から和光中学校の最高学年となります。1年生は4月から後輩ができます。その準備のために小さくても確実なステップを踏んでください。また、行事でも来年度につながるものが計画されています。

2月12日には、県下一斉の学習の診断が行われます。この1年間に学んだ学習のまとめとして、取り組んでください。

備えあれば・・・

2学期の終業式で能登半島地震について話しましたが、1月17日は阪神・淡路大震災が起こった日です。今年でちょうど30年になります。30年前、私は神戸市で教員として働いていました。神戸の街が黒い雲と煙におおわれ、建物はほとんど壊滅状態、「この先、いったいどうなるんだろう」と途方に暮れる毎日だったことを覚えています。「兵庫県では大きな地震は起こらない」とみんなが思っていました。活断層などというものもこのときはじめて聞きました。阪神・淡路大震災はその活断層がいっせいにずれ、広範囲で大きな地震になったといわれています。「まさか・・・」という考えから平時からの準備を怠り、さらに大きな被害へとつながったといわれています。香川県は災害の少ない県ですが、阪神・淡路大震災のことを考えると災害には備えていなければなりません。避難場所、避難経路、防災グッズ、家族との連絡方法等、まさかのときに備えて下さい。

「受賞おめでとうございます！」

◎第53回「小さな親切」作文コンクール（11/9）

◎実用英語技能検定合格（11/15）

◎中学生の税についての作文（10/30）

◎「家族ふれあい・あいさつ運動・わたしの夢」作品コンクール 標語中学生の部（12/7）

◎三観地区中学校新人体育大会バレーボール競技男子（12/8）

◎香川県小・中学校総合文化祭展覧会出品作品審査会（12/3）

*受賞者氏名については、紙面でご確認ください。